

第 106 回規格会議

1月22日（月）に、第106回規格会議が東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催されました。

今回は標準規格の策定2件、改定12件、技術資料の策定1件、改定5件、作業班の廃止1件が提案のとおり決議されました。



第 106 回規格会議の様子

本規格会議において決議された議案の概要は以下のとおりです。

第 106 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定及び改定等の概要

No.	規格番号	規格名等	概要
1	RCR STD-28 7.0 版	第二世代コードレス 電話システム標準規 格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 8 の 2 及び第 49 条の 8 の 3 にそれぞれ規定される時分割多元接続方式デジタルコードレス電話及び PHS の通信を行うシステムの無線区間インターフェースについて規定したものである。</p> <p>今回の改定は、デジタルコードレス電話の高度化に関する総務省の制度改正に基づき、新たな広帯域デジタルコードレス電話として 3GGP で標準化された TD-LTE 技術を使用する時分割・直交周波数分割多元接続方式デジタルコードレス電話 (sXGP 方式) を導入するため所用の規定を追加するものである。また、sXGP 方式と共用を図るため自営 PHS の制御チャンネルを追加するなどの改定を行うほか、第 6.0 版で規定した sPHS 方式について今後も導入見込みがないため規定を削除する。</p> <p>sXGP : shared eXtended Global Platform</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
2	ARIB STD-T101 2.0 版	時分割多元接続方式 広帯域デジタルコー ドレス電話の無線局 の無線設備標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 8 の 2 の 2 に規定される時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備(DECT 準拠方式)について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、需要増への対応、利便性の向上及び IoT 等の新たな利用形態を可能とするために行われた総務省の制度整備に対応して、使用搬送波周波数の追加、空中線電力の規定及び自営 PHS との共用条件の見直し等を行う他、相互接続に係る規定を改定するものである。</p>
3	ARIB STD-T63 Ver.13.10	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 3 世代携帯電話システムである IMT-2000 システムに関する標準規格の内の IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものである。</p> <p>前回、第 105 回規格会議(平成 29 年 10 月開催)において、新たにリリース 14 を加えて、平成 29 年 6 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 14 までの標準規格を基に Ver.13.00 へ改定された。</p> <p>今回の改定では、その後平成 29 年 9 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 14 までの標準規格を反映するものであり、端末に関する適合性試験仕様の更新も追加されている。</p>
4	ARIB TR-T12 Ver.13.10	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、いわゆる第 3 世代携帯電話システムである IMT-2000 システムに関する標準規格の内の IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものである。</p> <p>前回、第 105 回規格会議(平成 29 年 10 月開催)において、新たにリリース 14 を加えて、平成 29 年 6 月までに 3GPP が更新したリリース 8 からリリース 14 までの技術資料を基に Ver.13.00 へ改定された。</p> <p>今回の改定では、追加、修正、削除の対象となる技術資料はないが、同時に改定される標準規格 STD-T63 のバージョンと整合を取るために、バージョンのみの改定を行う。</p>
5	ARIB STD-T104 Ver.5.10	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced システムに関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced システムに関するものである。</p> <p>前回、第 105 回規格会議(平成 29 年 10 月開催)において、新たにリリース 14 を加えて、平成 29 年 6 月までに 3GPP が更新したリリース 10 からリリース 14 までの標準規格を基に Ver.5.00 へ改定された。</p> <p>今回の改定では、その後平成 29 年 9 月までに 3GPP が更新したリリース 10 からリリース 14 ま</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			での標準規格を反映するものであり、端末に関する適合性試験仕様の更新も追加されている。
6	ARIB TR-T19 Ver.5.10	LTE-Advanced System ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、いわゆる第4世代携帯電話システムであるIMT-Advancedシステムに関する2つの標準規格の内の1つであるLTE-Advancedシステムに関するものである。</p> <p>前回、第105回規格会議(平成29年10月開催)において、新たにリリース14を加えて、平成29年6月までに3GPPが更新したリリース10からリリース14までの技術資料を基にVer.5.00へ策定された。</p> <p>今回の改定では、その後平成29年9月までに3GPPが更新したリリース10からリリース14までの技術資料を反映するものである。</p>
7	ARIB STD-T108 1.2版	920MHz帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備標準規格	<p>本標準規格は、電波法施行規則第16条(改正平成29年総務省令第62号)(関係告示・平成6年第405号、改正平成29年第288号)に規定される陸上移動局の用途等のうち、テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用であって、無線設備規則第49条第34号に規定された920.5MHz以上923.5MHz以下の周波数の電波を使用する無線設備(第1編:陸上移動局)、及び、電波法施行規則第6条(改正平成29年総務省令第62号)、関係告示・平成元年第42号(改正告示・平成29年第285号)に規定される特定小電力無線局の用途等のうち、テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用であって、無線設備規則第49条の14(改正告示・平成29年第286号)に規定された915.9MHz以上929.7MHz以下の周波数の電波を使用する無線設備(第2編:特定小電力無線局)について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、920MHz帯の周波数の利用が広がり、LPWAなど様々な通信ニーズに対応したアクティブ系小電力無線システム(陸上移動局:250mW)の導入が進む中で、このようなシステムがより効率的に運用できるよう、チャンネルの拡張及び関連の運用規定を追加するものである。</p>
8	ARIB STD-B60 1.11版	デジタル放送におけるMMTによるメディアトランスポート方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送におけるMMTによる映像、音声、データ等のトランスポート方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、MMTによるアプリケーション伝送に係る「アイテム」と「サンプル」及び「アイテムチェックサム」の規定に不明確な点があったため明確化すると共に準拠文書の一つであるISO/IEC規格の改版を反映するものである。</p> <p>MMT: MPEG Media Transport</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
9	ARIB STD-B62 1.8 版	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式(第2世代)標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における第2世代のマルチメディア符号化方式に関し規定したもので、今回の主な改定は以下のとおりである。</p> <p>第一編の改定は、第1部で規定されるレファレンスモデルにおいて、「アプリケーションエンジン」の用語の定義を追加し、それに合わせて受信機レファレンスモデルを明確化するものである。</p> <p>第二編の改定は、マルチメディア符号化方式言語仕様において、高度広帯域衛星デジタル放送のマルチメディアサービス実現にあたり必要となる放送用拡張関数のうち、TCP/IP を想定した通信機能関連関数のタイムアウト時間の規定を明確化するものである。</p> <p>TCP/IP : Transmission Control Protocol / Internet Protocol</p>
10	ARIB TR-B14 6.3 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、CAS モジュールの処理能力に関し EMM 受信コマンド、EMM 個別メッセージ受信コマンドの受信処理規定の明確化を行い受信機設計の一助とするものである。</p> <p>また、参照先の章節番号の誤りが見つかったため、誤記修正を行う。併せて章節番号の採番に誤りがあったため修正を行う。更に、コンテンツ保護方式のRMP方式におけるデバイスID表示計算例の明確化を行う。</p> <p>CAS : Conditional Access System EMM : Entitlement Management Message RMP : Rights Management Protection</p>
11	ARIB TR-B15 7.5 版	BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域 CS デジタル放送の放送局での運用並びに BS デジタル放送受信機及び BS・広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、CAS モジュールの処理能力に関し EMM 受信コマンド、EMM 個別メッセージ受信コマンドの受信処理規定の明確化を行い受信機設計の一助とするものである。</p> <p>また、BS デジタル放送のワンタッチボタンによるサービス選局の拡張機能例を追記する。更に、委託放送事業者の事業者名の変更及び事業者のサービス継承の変更に伴い、関連する各種数値割り当て一覧の該当箇所を変更する。</p> <p>CAS : Conditional Access System EMM : Entitlement Management Message</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
12	ARIB TR-B39 1.6 版	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の「放送局での運用」及び「受信機の機能仕様」に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、マルチメディアサービスに関する規定の改定、映像・音声等の符号化信号の処理単位となる MPU の MPU タイムスタンプ記述子及び MPU 拡張タイムスタンプ記述子の明確化、CAS モジュールの処理能力に関し EMM 関連コマンドの処理や通信データ設定コマンドの受信処理に関する明確化、各種値の規定である。</p> <p>API : Application Programming Interface MPU : Media Processing Unit EMM : Entitlement Management Message</p>
13	ARIB STD-B67 Ver.2.0	Parameter Values for the Hybrid Log-Gamma (HLG) High Dynamic Range Television (HDR-TV) System for Programme Production ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、拡張映像ダイナミックレンジ型テレビジョンシステム (EIDRTV) のシステムパラメータのうち、光の情報を電気の情報へ変換し、デジタル化する際に必須となるパラメータである測色パラメータ、信号フォーマット及びデジタル信号表現を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、HDR を適用する映像の空間特性と時間特性を含めた国際的な合意が得られ、勧告 ITU-R BT.2100 が 2017 年 6 月に改訂されたことを受け、標準規格の名称を “Essential Parameter Values for the Extended Image Dynamic Range Television (EIDRTV) System” から “Parameter Values for the Hybrid Log-Gamma(HLG) High Dynamic Range Television (HDR-TV) System” に一部変更し、映像の空間特性及び時間特性を追加すると共に、信号形式の表記を勧告 BT.2100 に合わせ、さらに、デジタル表現の変更を行うものである。</p> <p>EIDRTV : Extended Image Dynamic Range Television HDR-TV : High Dynamic Range Television HLG : Hybrid Log-Gamma ITU-R : 国際電気通信連合 無線通信部門</p>
14	ARIB TR-B43 1.0 版	高ダイナミックレンジ映像を用いた番組制作の運用ガイドライン技術資料	<p>本技術資料は、STD-B67 で規定され高度広帯域衛星放送方式に採用された、HLG 方式の高ダイナミックレンジ映像の番組制作運用ガイドラインについて規定するものである。</p> <p>本技術資料では、HLG 方式の HDR 番組制作における基準白の定義、SDR から HDR へのマッピング方式及び代表的な信号レベル等を規定している。</p> <p>なお、国際電気通信連合からも HDR 番組制作に関するレポート ITU-R BT.2408 が 2017 年 10</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			<p>月に発行されており、これとの整合性を図っている。</p> <p>HLG : Hybrid Log-Gamma HDR : High Dynamic Range SDR : Standard Dynamic Range マッピング : 視覚的変化が最小限となる変換方式 ITU-R : 国際電気通信連合 無線通信部門</p>
15	ARIB STD-B72 Ver.1.0	Colour Bar Test Pattern for the Hybrid Log-Gamma (HLG) High Dynamic Range Television (HDR-TV) System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、ARIB 標準規格 STD-B67 で規定され、高度広帯域衛星放送方式に採用された、HLG 方式の高ダイナミックレンジ映像の基準信号として、カラーバーを規定するものである。</p> <p>本標準規格では、標準ダイナミックレンジの超高精細度テレビジョン方式用カラーバー規格である STD-B66 の簡易パターンレイアウトを基本に、カラーバー最上部に 100%輝度信号パターンを加え、高ダイナミックレンジ映像用のコード値を規定している。</p> <p>なお、本標準規格は、国際標準規格から参照されることが想定されるため、英文版を正本とすることとしている。</p> <p>HDR-TV : High Dynamic Range Television HLG : Hybrid Log-Gamma</p>
16	ARIB STD-B39 1.4 版	補助データパケット 形式で伝送される放 送局間制御信号の構 造標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送を実施する時に放送局のスタジオ内外で使用される各種のビット直列インタフェースにおいて、放送局間制御信号を補助データパケットで伝送する場合の構造を規定している。</p> <p>今回の改定では、4K 映像ビット直列インタフェースによる放送局間制御信号の運用において、2 種類の 4K 映像ビット直列インタフェース間の信号を相互変換する場合を考慮し、各インタフェース上の信号に対して異なる符号値ではなく、同一の符号値を割り当てる。また、運用コスト低減のため、放送局間制御信号を用いた番組の尺長情報（継続時間）を伝送できるよう、トリガ信号またはステータス信号の継続時間を表すデータ構造を追加規定する。</p>
17	ARIB STD-B71 1.0 版	超高精細度テレビ ジョン放送番組素材 伝送用可搬形マイク ロ波帯 OFDM 方式 デジタル無線伝送シ ステム標準規格	<p>本標準規格は、圧縮した超高精細度テレビジョン（4K・8K）信号や、ハイビジョン（2K）信号を、マイクロ波帯の電波を使って OFDM 方式により伝送する可搬形のテレビジョン放送番組素材伝送システム（FPU : Field Pick-up Unit）について規定するものである。</p> <p>4K・8K 放送の実用化に向けて、4K・8K 用 FPU の開発は機動性のある番組制作のために不可欠であり、ミリ波帯に続き、今般、マイクロ波帯 FPU</p>

No.	規格番号	規格名等	概要
			の標準規格を策定するものである。
18	ARIB STD-B33 1.3 版	テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形 OFDM 方式デジタル無線伝送システム標準規格	<p>本標準規格はテレビジョン放送番組素材伝送用の可搬形無線伝送機器である FPU の OFDM デジタル無線伝送システムについて規定するものであり、このシステムによる番組素材伝送が円滑に実施されることを目的に規定されたものである。</p> <p>今回の改定は、1.2 版までに存在した TMCC キャリアの変調方式の記述を修正するものである。</p> <p>TMCC : Transmission and Multiplexing Configuration Control</p>
19	ARIB STD-B43 2.1 版	テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形ミリ波帯デジタル無線伝送システム標準規格	<p>本標準規格はテレビジョン放送番組素材伝送用の可搬形無線伝送機器である FPU のミリ波帯デジタル無線伝送システムについて規定するものであり、このシステムによる番組素材伝送が円滑に実施されることを目的に規定されたものである。</p> <p>今回の改定は、2.0 版までに存在した TMCC キャリアの変調方式の記述を修正するものである。</p> <p>TMCC : Transmission and Multiplexing Configuration Control</p>
20	ARIB STD-B57 2.2 版	1.2GHz/2.3GHz 帯テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形 OFDM 方式デジタル無線伝送システム標準規格	<p>本標準規格は 1.2GHz 帯／2.3GHz 帯を使用したテレビジョン放送番組素材伝送用の可搬形無線伝送機器である FPU の OFDM デジタル無線伝送システムについて規定するものであり、このシステムによる番組素材伝送が円滑に実施されることを目的に規定されたものである。</p> <p>今回の改定は、2.1 版までに存在した TMCC キャリアの変調方式の記述を修正するとともに記述内容の明確化を行うものである。</p> <p>TMCC : Transmission and Multiplexing Configuration Control</p>
21	—	第 B20 作業班	<p>第 B20 作業班は、現行 BS / 110 度 CS デジタル放送で運用されている「衛星デジタル放送の伝送方式標準規格」(ARIB STD-B20) の維持改定を行うため、第 31 回規格会議(平成 12 年 6 月 20 日開催)承認により設置・運用された。</p> <p>本作業班は、平成 13 年 5 月 13 日に ARIB STD-B20 3.0 版を改定発行以降、これまで活動実績はなく、今後とも活動が想定されないため廃止する。</p> <p>なお、万が一 ARIB STD-B20 に改定の必要性が発生した場合は、関連する「高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式(ISDB-S3)標準規格」(ARIB STD-B44)を所掌するデジタル放送システム開発部会 衛星デジタル放送作業班にて対応を行う。</p>